

各 位

会 社 名 ミクロン精密株式会社
代表者名 代表取締役社長 榊原 憲二
(コード：6159、東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役管理部長 遠藤 正明
(TEL. 023-688-8111)

「第64期定時株主総会の招集に際しての電子提供措置事項（交付書面省略事項）」の一部訂正について

当社は、「第64期定時株主総会の招集に際しての電子提供措置事項（交付書面省略事項）」の記載事項の一部に訂正すべき事項がございましたので、お詫び申し上げますとともに、下記のとおり訂正させていただきます。

記

1. 訂正箇所

「第64期定時株主総会の招集に際しての電子提供措置事項（交付書面省略事項）」
事業報告 2. 会社の現況（3）会社役員の状態 ④社外役員に関する事項 ロ. 当事業年度における主な活動状況及び社外役員に期待される役割に関して行った職務の概要 6 ページ

※訂正箇所には下線を付しております。

2. 訂正内容

（訂正前）

ロ. 当事業年度における主な活動状況及び社外役員に期待される役割に関して行った職務の概要

社外取締役押野正徳氏は、当事業年度開催の取締役会22回のうち20回に出席し、永年にわたり多くの企業を監査してきた経験を活かし、客観的な助言や忌憚のない意見により、社外取締役として独立した立場から適宜発言を行っております。取締役会において、取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための発言を行っており、経営会議においても、当社と子会社の財務状況・経営成績について適宜発言を行うなど、社外取締役に期待される役割を十分に果たしております。

社外監査役今田隆美氏は、当事業年度開催の取締役会22回のうち21回に、また監査役会15回のうち14回に出席し、他社の取締役・監査役の経験を活かした忌憚のない意見により、取締役の職務の適法性、妥当性を確保すべく、発言を行っております。

社外監査役鈴木辰雄氏は、当事業年度開催の取締役会22回のうち21回に、また監査役会15回のうち15回に出席し、他社の取締役の経験を活かした忌憚のない意見により、取締役の職務の適法性、妥当性を確保すべく、発言を行っております。

（訂正後）

ロ. 当事業年度における主な活動状況及び社外役員に期待される役割に関して行った職務の概要

社外取締役押野正徳氏は、当事業年度開催の取締役会24回のうち22回に出席し、永年にわたり多くの企業を監査してきた経験を活かし、客観的な助言や忌憚のない意見により、社外取締役として独立した立場から適宜発言を行っております。取締役会において、取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための発言を行っており、経営会議においても、当社と子会社の財務状況・経営成績について適宜発言を行うなど、社外取締役に期待される役割を十分に果たしております。

社外監査役今田隆美氏は、当事業年度開催の取締役会24回のうち23回に、また監査役会15回のうち14回に出席し、他社の取締役・監査役の経験を活かした忌憚のない意見により、取締役の職務の適法性、妥当性を確保すべく、発言を行っております。

社外監査役鈴木辰雄氏は、当事業年度開催の取締役会24回のうち23回に、また監査役会15回のうち15回に出席し、他社の取締役の経験を活かした忌憚のない意見により、取締役の職務の適法性、妥当性を確保すべく、発言を行っております。

以 上